【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2001-8947(P2001-8947A)
【公開日】平成13年1月16日(2001.1.16)
【出願番号】特願平11-252189
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　19/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　 6/03　　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　17/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　17/34　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　19/00　　５０２
Ａ６１Ｂ　 6/03　　３７７
Ａ６１Ｂ　17/00　　３２０
Ａ６１Ｂ　17/34　　３１０

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月27日(2007.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内視鏡下手術において、体内の腫瘍近傍に取り付けられた無線の発信機と、先端部に上記発信機で発生された信号を受信する受信機が取り付けられた鉗子と、上記受信機で受信した信号をもとに上記発信機の位置を検知する位置検知手段と、上記位置検知手段で検知した発信機の位置を表示する位置表示手段とを備えたことを特徴とする微小腫瘍追尾手術システム。
【請求項２】
内視鏡下手術において、体内の腫瘍近傍に取り付けられた無線の発信機と、上記発信機が発生する信号を受信する第１の受信機と、先端部に上記発信機で発生された信号を受信する第２の受信機が取り付けられた鉗子と、上記第１および第２の受信機で受信した信号をもとに上記発信機の位置を検知する位置検知手段と、上記位置検知手段で検知した発信機の位置を表示する位置表示手段とを備えたことを特徴とする微小腫瘍追尾手術システム。
【請求項３】
上記第１の受信機が、食道に挿入されるものである請求項２記載の微小腫瘍追尾手術システム。
【請求項４】
先端部に第３の受信機が取り付けられた内視鏡を有し、上記位置検知手段が、上記各受信機で受信した信号をもとに上記発信機の位置を検知するようになっている請求項１～３のいずれか一項に記載の微小腫瘍追尾手術システム。
【請求項５】
上記位置検知手段が、受信機が受信した信号をもとに、発信機と受信機の位置関係を検知するようになっているとともに、位置表示手段が、発信機と受信機の位置関係を表示するようになっている請求項１～４のいずれか一項に記載の微小腫瘍追尾手術システム。

【請求項６】
内視鏡下手術において、体内の腫瘍近傍に取り付けられた無線の第１の発信機と、先端部に第２の発信機が取り付けられた鉗子と、上記第１および第２の発信機が発生する信号を受信する受信機と、この受信機で受信した信号をもとに上記第１および第２の発信機の位置を検知する位置検知手段と、上記位置検知手段で検知した第１および第２の発信機の位置を表示する位置表示手段とを備えたことを特徴とする微小腫瘍追尾手術システム。
【請求項７】
上記発信機が磁気発生体であり、上記受信機が磁気センサである請求項１～６のいずれか一項に記載の微小腫瘍追尾手術システム。
【請求項８】
上記発信機が高導磁率材料からなり、この発信機に外部の着磁装置で着磁させるようになっている請求項７記載の微小腫瘍追尾手術システム。
【請求項９】
上記着磁装置により、発信機の着磁方向を交互に切り換えるようになっている請求項８記載の微小腫瘍追尾手術システム。